



2026 年 2 月 10 日

各 位

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長、社長兼最高経営責任者
窪田 良
コード番号 4596 東証グロース
問合せ先 広報・IR
(TEL : 03-6550-8928 (代表))

業績予想に関するお知らせ

2025 年 12 月期(2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日)の通期連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025 年 12 月期の連結業績予想数値 (2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日)

	事業収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	-	-	-	-	-	-
今回発表予想 (B)	21	△877	△659	△659	△659	△11.69
増減額 (B-A)	-	-	-	-	-	-
増減率 (%)	-	-	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (2024 年 12 月期)	27	△1,345	△1,333	△1,333	△1,333	△23.65

2. 業績予想修正 (公表) の理由

当社グループは、近視および眼疾患治療の革新を目指し、以下の通り事業を推進しております。

「Kubota Glass®」事業は、国内での認知度向上と、アジア・欧州を中心とした海外市場への販路拡大に注力しております。2025 年 12 月期は、本格的な普及に向けたマーケティング活動および次世代機の開発を継続し、事業収益は 21 百万円となる見込みです。

「エミクススタト塩酸塩」事業は、スターガルト病等の適応症に対し、蓄積された臨床データの解析と、グローバルな提携パートナー候補との協議を継続しております。海外でのコンパッションネートユース制度の活用等による早期の収益化を目指しております。



損益については、上記の先行投資および研究開発費（R&D）の計上により、営業損失は 877 百万円となる見通しです。一方、営業外収益の計上により、当期利益以下の損失幅は営業利益に比して縮小する見込みです。

3. 今後の見通し

「Kubota Glass®」につきましては、Kubota Glass の提供価値をより多様かつ継続的に届けることを目的として、日本市場において新たな販売手法の可能性について検討・準備を進めております。また、「エミクススタ塩酸塩」につきましては、引き続きライセンス交渉の進展を通じて企業価値の最大化と早期の黒字化に向けた体制構築に邁進してまいります。

以上